

この度は研究支援、誠にありがとうございました。研究成果について、下記の通りご報告いたします。

記

1.研究課題名	マインドセットが動機づけに及ぼす影響の縦断調査研究：授業内フィードバックの解釈に着目して
2.研究目的	本研究は、実際の教育場面において縦断調査を行い、教師からのフィードバックが学生の学習モチベーションに与える影響をマインドセットの観点から検証することを目的とした。
3.研究期間	データ収集期間は 2023 年 10 月から 2023 年 12 月までであった。
4.結果	<p>東京の私立大学で英語の授業を受講している 49 名の学部生が本調査に参加した。最終的に、25 名の学生（男性 11 名、女性 13 名、未回答 1 名；$M=18.67$, $SD = 0.91$）に関する 135 件のデータが分析に使用された。</p> <p>マルチレベル分析の結果、以下のことが明らかになった。教師からのフィードバックについて、(a)個人内で（普段よりも）「『必ず伸びる』と思ってもらえた」と解釈した日は、「英語の勉強をもっと努力や時間をかけて頑張ろう」という動機づけが強くなる。(b) 個人内で（普段よりも）「教師に『必ず伸びる』と思ってもらえた」と解釈した日に動機づけが強まる程度は、成長マインドセットの強い人ほど大きい。すなわち、成長マインドセットに基づく解釈が努力時間投入を促すこと、その効果をマインドセットの個人差が調整すること、という 2 つの結果が示された。</p>
5.結論	学生のモチベーションは、教師のフィードバックに対する解釈によって影響を受ける可能性があることが確認された。特に、その解釈が学生自身の成長マインドセットと一致している場合により顕著に現れることが示された。
6.研究成果発表	今後得られた成果について AASP2025 学会にて発表、また研究データについては論文化を行う予定である。

以上